

能登半島西方及び北方沖の陸棚堆積物 - 分布, 年代, 堆積速度 -

Distribution, depositional age and sedimentation rate of shelf sediments west and north of Noto Peninsula

池原 研 [1]; 井上 卓彦 [2]

Ken Ikehara[1]; Takahiko INOUE[2]

[1] 産総研・地質情報; [2] 産総研, 地質

[1] IGG, AIST; [2] AIST, IGG

能登半島西方及び北方沖において、海底堆積物コアの採取を行った。結果として、1) 能登半島西～北西沖では完新世のシルト質堆積物が厚く分布すること、2) 能登半島北方沖では砂質堆積物が広く分布するが、その下位には3-4万年前の陸成堆積物が認められること、3) 表層の砂質堆積物の下部は下位の陸成の礫層が海底下で再移動して形成されたこと、が明らかとなった。3-4万年前の浅海層は陸棚よりやや沖合の地形的高まりに分布することから、この時代の地層が広く表層堆積物下に分布し、今回は採取されていない最終氷期最盛期の堆積物はこれを削った谷地形の中にのみ認められる可能性がある。